

# 台湾新聞

## TAIWAN NEWS ◆ 2011年3月号 月刊 東京発行 NO.149



祝賀 所有在日華僑婦女同胞三八婦女節快樂

### TOPIC

- 日本語版
  - 台湾各地でランタンフェスティバル 1面
  - 台北花博 2面
- 中国語版
  - 華航開西航線多元化 7面

# 台湾各地でランタン・フェスティバル開催

毎年冬の寒さがやわらぎ始めるこの時期になると、台湾の各地で「ランタン・フェスティバル」が行われる。「ランタン・フェスティバル」は「元宵節」と呼ばれ、台湾の各地、16ヶ所で、毎年旧暦の1月15日に行われる祭りだ。カラフルな様々なテーマを持った「あかり」で彩られた「ランタン」が各地で飾られ、台湾の夜を彩る。このお祭りは、その年の最初の満月の夜に空を飛び交う精霊を見るため、提灯に灯を入れていたのがはじまりと言われている。民族のロマンを感じる夜の祭り。



ランタンで作った「平安門」



ランタンの中心・干支の兎をかたどったランタン。周りにレーザー光線が舞う

会場の周辺では各地の各団体が作ったさまざまな「ランタン」が展示され、台湾グルメの屋台も数多く出ているので、一晩中楽しむことができる。

苗栗のランタンフェスティバルはこの開会式が行われた2月17日から28日まで行われたが、各地でこの日を中心に多くのランタンフェスティバルが行われ、台湾はランタンのお祭り一色になる。

台湾の旧正月。その最後を彩る「ランタンフェスティバル」は、台湾の民族のロマンと夢を感じる、暖かで華やかなお祭りだ。

なお、来年の「ランタン・フェスティバル」の台湾でのメイン会場は彰化県の「鹿港」で行われる。

この「ランタン・フェスティバル」のうち今年もっとも規模の大きなものは、台湾の北西部にある、創設60年にあたる苗栗(Miao Li)で行われたもの。今年は、主催場所の苗栗県の知事劉政鴻氏に加え、馬英九総統、呉敦義行政院長(日本では首相にあたる)はじめ、多くの台湾の政府関係、台湾の政府の観光局長頼瑟珍氏、タレントのジュディ・オングさん、台湾のシーズン・ボイルと言われている 林育羣(リン・ユウチュン)さんなどなど、盛りだくさんの参加者が壇上からこのフェスティバルを見守った。

点火前には、午後4時から、台湾各地、そして今年日本各地からも多くのパフォーマーが会場真ん中の舞台上で踊り、点火式を盛り上げる。日本からは、各地から「YOSAKOIソーラン」を行う団体がやってきて、多くのパフォーマンスを行った。

午後7時になると、今年の干支である巨大な兎の形をしたランタンに点火。点火



台湾の政府交通部・観光局長の頼瑟珍局長



苗栗ランタンフェスティバルで挨拶する馬英九総統ら台湾の政府の関係

スイッチは馬英九総統はじめ、政府要人が行った。点火と同時に、緑色のレーザー

光線が夜空に舞い、打ち上げ花火が夜空を彩る。

### 台北花博公式フライトで行く



いよいよ4月25日までとなった「台北花博」。花博の公式フライトで台北花博にでかけよう。(2面)

生命建築 With Infinite Value  
Masterpiece Of Life 雋永價值  
龍慶人本安藤忠雄 Lungyen Tadao Ando

世紀建築鉅作 安藤忠雄

世界第一、更是世界唯一櫻花園不動産  
『擁有價 888 萬』

新時代不動産配置觀  
參考 HP: www.youtube.com/watch?v=hLve\_XvqK2s

聯絡先: dragon@taiwannews.jp  
張小姐 090-9988-2387  
陳小姐 03-3988-8988  
劉先生 886+972-278-331

### 台湾物産館

台湾飲茶シリーズ

台湾物産館 銀座店 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 2-14-15 ヴェルト笹塚ツインビル1F TEL&FAX: 03-5304-7801  
台湾物産館 お台場店 〒135-0091 東京都港区台場 2-2-1 ザ・タワーズ台場 アネックスモール1F  
TEL: 03-3527-8861 FAX: 03-3527-8862  
台湾物産館本部(池袋青果株式会社) 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-15-7 池袋ビル 2F TEL:03-3988-3321 FAX:03-3985-8173  
URL: http://www.taiwan-bussankan.com/index.html Yahoo! 3y3y URL: http://store.yahoo.co.jp/taiwanbussankan

宅配利用で速く、からでも利用OK

### パソコン処分したいんだけど・・・ 【無料】 どうすればいいの？

【依頼者にお得情報】  
デスクトップSET  
ノートPC (換装部不可)  
周辺機器 (換装部不可)

↓  
QUOR 割増カード  
どちらかプレゼント  
(事前のご連絡をお願いします)

【その他高価買取します】  
非鉄・スクラップ・腐プラ  
エアコン・銅線・給湯器、他

【その場で破壊サービス付】  
当社に依頼されたパソコンは全てHDD破壊サービスです。  
ご希望の方は、その場で破壊致します。

【周辺機器・家電】  
壊れ・古い お引受け致します  
解体→分別→再資源なので、ゴミではありません。  
家電リサイクル品目 (テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)は別途ご相談下さい。

持込ヤード

70%  
アップ  
スクラップ  
高価買取  
即日現金  
即日現金

なんでも  
ご相談下さい

http://www.shinrikogyo.co.jp 信利工業株 (日本関西商工協会 会長: 池平美香) 〒593-8312 大阪府堺市西区草部 2009 番地 tel 072-260-3688 fax 072-260-3677

### ますます便利、充実のネットワーク

羽田ー台北(松山)毎日2便、成田ー高雄 週3便で運行!

台湾へはますます便利になった  
チャイナエアラインをご利用ください。

10月31日より羽田ー台北(松山)線と成田ー高雄線が同時就航。  
今までの成田ー台北(松山)線 毎日1往復に基き羽田ー台北(松山)線 毎日14便の新規就航。  
さらにコードシェア便を含めると東京から台北へ合計 週47便、成田ー高雄線 週3便を  
追加、東京から台湾へのネットワークは計 週50便と更に充実します。

オンライン正規航空券ならではの特典が盛りだくさん

詳しくはホームページへ http://www.china-airlines.co.jp/  
チャイナエアラインのホームページから詳細検索して、E-チケットイン、E-ショッピング(新着予約)など便利なサービスがいつでもご利用いただけます。

チャイナエアライン 検索

### 台湾観光協会のロゴとキャッチフレーズがリニューアル

2011年2月11日、台湾観光協会の新しいロゴとキャッチフレーズが発表された。

ロゴはオレンジ色を基調にしたシンプルな「Taiwan」の文字。キャッチフレーズは「THE HEART OF ASIA」となり「訪れて気持ちのよい、暖かな国」というイメージが前面に出ているものだ。これは世界に向けて、台湾が創造力と活力に満ちた態度で誠実に接していきたいとの想いが込められているとのこと。伝統と多様化と革新。そして誰が来ても暖かなもてなしのある積極性をアピールしている。

Taiwan THE HEART OF ASIA

# 4月25日まで:台北花博

2010年から2011年にかけての台湾最大のイベントといえば「台北花博」(正式名称は「2010台北国際花卉(かき)博覧会」-TAIPEI INTERNATIONAL FLORA EXPOSITION)だ。台北花博は、台湾で行われる最初の国際博覧会。2010年11月6日から、2011年4月25日まで、台北のMRT圓山駅を入口に、4つの隣接する広大なエリアで行われている。博覧会という、クローズした大きな展示場などで行われるように思うが、台北花博はオープンな屋外での展示も多く、開放的な雰囲気がある。花博のオフィシャルフライトは日本にも



台北花博のメインゲート 花博会場の屋外展示も楽しめる。咲き乱れる花をバックに一枚 台北花博もこの春まで。急いで行ってみよう

## EVERGREEN RESORT HOTEL 礁溪 (長榮鳳凰酒店)

土曜日の朝、東京、羽田を立つ。午後には台湾の東側にある、古い日本の面影が残る「礁溪(しょうけい)」の街に立つ。温泉街をゆっくりと歩いてから、夕陽の迫る頃、予約しておいたリゾートホテル(EVERGREEN RESORT HOTEL 礁溪)に投宿。地元の海の幸が豊富なビュッフェ形式の夕食でおなかを一杯にしたら、ホテルの温泉の広いプールでひと泳ぎ。夜は屋上にある露天風呂に入る。部屋にも大きな石作りの風呂があるので、部屋に戻ってからも風呂浴びる。気がつけば睡魔がやってきて、暖かな部屋で深い眠りに落ちる。翌朝、遅く起きてビュッフェの朝食を食べながら街を散歩。小さな街なのですぐに回りきれてしまう。昼の温泉街は夜のネオンの街とはまた違った感じ。ゆったりした時間が流れると、ときは既に昼。街中で台湾料理の小さな店で食事をしてからホテルに戻る。荷物をまとめてから、ホテルのシャトルバスで台北まで1時間。あるい



部屋は大きな風呂場とベッドルームが全面のガラスで区切られている。内風呂で豪華な温泉が味わえる

大変に便利などころにある。そのため、この路線は花博観光に適した路線として多くの日本からの花博観光客に利用されている。実際に花博の会場に行ってみると、会場いっぱい咲き乱れる花はよくメンテナンスされており、いつ訪れても華やかな雰囲気に浸ることができる。楽しいだけではなく「花」や「自然」へ知識にも気を配り展示が行われている。会場全体に散らばられたさまざまなテーマのパビリオンと、日本をはじめとした諸外国からのパビリオン、さらには造園技術を尽くしたガーデンングのエリアなどが楽しめる。パビリオンはどれもお勧めだが、どのパビリオンも人気が高く長い列で入れないほどだ。なんとか入った「真相館」もすごい列だった。ここでは、当時の台湾の政府の内閣を揺るがせるほどの大惨事となった「88水害(2009年8月8日)」が果たしてど

んなものだったのか、を3Dのアニメで追体験できる短い映画を上映している。アニメの主人公の少年をはじめとした登場人物の心の動き、行動などが多くの共感を得ているのだが、実際に会場で配られる3Dのメガネを使って見ると、その迫力に圧倒される。あとで担当の方に聞いたところによれば、この「真相館」がパビリオンの中でも一番の人気だとのこと。また、ガーデニングでは現地、台湾の「竹のドーム」が人気だった。竹だけを編んで作られたドームの天井は丸く穴が空いている。そこからきれいな青空が覗く様子は、亜熱帯の台湾ならではの風景だが、どこか日本的な風景にも感じる暖かさがある。「台北花博」が終わるのはもう来月だ。この暖かくなる機会に台北花博を訪れてみてはいかがだろうか?



業務部公開副理の李明穎さん



豪華で余裕の広さを持つカラオケルーム

がした日本を忘れさせてくれる。東京、羽田空港の国際線ターミナルができてから、東京からの海外旅行はぐんと便利になった。特に一日8往復の便がある台北便は、到着地の台北はこれまでの桃園空港ではなく、台北市のほぼ真ん中にある「松山空港」。台北市内のどこへでも、10分ほどで行くことができる、という空港だ。そして、台北からは1時間ほどで行くことができるいくつかの温泉がある。どれも古い日本の温泉街の面影を残した、日本人の心にぐっとくる風景が広がる。そのうちの1つ「礁溪(しょうけい - チャオシー)」には、海運、航空で有名な「EVERGREEN」グループのリゾートホテルがある。「リゾートホテル」と銘打ただけあって、館内の設備は至れり尽くせり。しかも昨年6月にオープンしたばかりで清潔できれい、しかも設備は最新のものが揃っている。もちろん、規模は礁溪で一番。日本語が使えるスタッフもいて、安心して泊まることができる。ホテルの各部屋の構造は、石作りの広い風呂と、隣接するベッドルームが特徴だ。しかも、そのあいだは大きなガラス張りという作り。電動のカーテンもあり、このカーテンを下ろすと風呂とベッドルームのあいだを仕切れることもできる。とってつけたような温泉場の内風呂ではない、他の宿にはない面白い作りだ。部屋にいる

だけでも、十分に温泉の気分が味わえる。部屋を出ると、水着を着て入る屋内温泉プール、広い屋外プール、露天風呂、キッズルーム、カラオケルーム(台湾ではKTVという)、スポーツジムなどの施設がもりだくさんだ。礁溪は古い日本の温泉街のようだが、このホテルは別世界。とくにカラオケルームは別料金ではあるものの、50人は入れそうな大きさの部屋が15人用、となっていたりする。広さもさることながら、日本のすし詰めのカラオケルームには無い豪華な設備もある。このホテルはできたばかりのとき、タレントのリン・チーリンなども訪れた。また、多くの海外からのVIPも訪れる。その分料金は礁溪でも少々高い。しかし、それだけの価値は十分にあるホテルだ。疲れを癒す。遠くに行きたい。そんな気分を十分に味わえるホテル。それが「EVERGREEN RESORT HOTEL 礁溪」だ。日本の郷愁を色濃く持つ温泉街・礁溪。その街の夜を歩く。リゾートホテルに泊まる。この2つをどちらも満足させてくれるところは、他にはない。しかも、東京から簡単にいけるようになった「台湾」。そこは世界でも有数の親日の国である安心感もある。日本人にとって、台湾に行くことは、真の日本人を見つけに行くことなのかもしれない。

## 台北のTHE RIVIERA HOTEL (欧華飯店) は日本人にもやさしい上品なホテル

台北市・林森北路646号に、THE RIVIERA HOTEL (欧華飯店)はある。このホテルはこの場所にてきて18年の歴史がある、フレンチ・スタイルを特徴とした上品なホテルだ。ホテルの近くには、日本から台北に出張するビジネスマンの通う会社も非常に多く、日本人向けのナイトクラブをはじめとした夜のレジャー施設も数多い。また、松山空港も非常に近いため、空港からタクシーで100円ほど(日本円で約350円ほど)でホテルに着くことができるのも、魅力だ。館内はヨーロッパ、特にフレンチ・スタイルとなっていて、華やかだが落ち着いた雰囲気がある。総経理の何宗嶽氏にお話を伺ったところ、家具もフランスから取り寄せたものとのことで、日本人のビジネスマンのみならず、その雰囲気が観光客にも好評だとのこと。スタッフも日本語が話せるスタッフがが多く、ホテルの出入りのときなども「いらっしゃいませ」と、日本語の挨拶をしてくれる。何総経理によれば、このホテルはオープンした当初から日本人の泊まり客が多かったとのことで、特に日本人向けのサービスに力を入れている。THE RIVIERA HOTELは、中華民国交通部観光局から、1998年、2002年、2008年と3回も「優秀なホテル」に選定され、その他にも多くの賞をとっている。日本の旅行会社からの申し込みも非常に多い。場所も美術公園が目前にあるなど、台北の落ち着いた散策に適した立地。また、台北花博の会場や台北最大の夜市、士林夜市にも近い。ビジネスでありがたいのは、ホテル内で数人での気持ち良い会議ができる部屋などもあるだけではなく、無線、有線、両方のインターネット接続がいつでも無料で使えること。ビュッフェでの朝食も日本人の口にも合う美味しいものだ(通常は宿泊料に朝食は含まれる)。予約はネットからも日本語で可能。デラックスのツインルームでの部屋料金はNT\$4,300-(日本円で約¥13,000-)。その他の部屋も、サービスと部屋のグレードを考えるとリーズナ



欧華飯店の吹き抜けの中心部。天井には広い明かり取りのガラス張りの天井がある



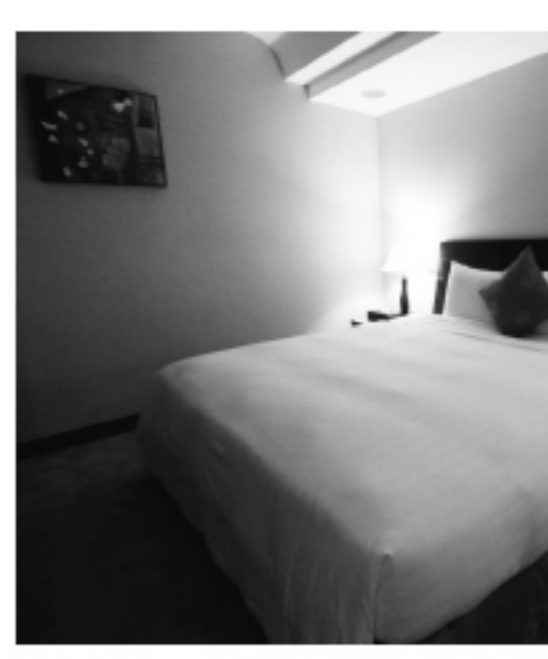
ホテルの部屋の内部



欧華飯店(THE RIVIERA HOTEL)の何宗嶽 総経理にホテルの開放的なカフェでお話を伺った

ブルなものだ。落ち着いた台北への旅行に最適な「THE RIVIERA HOTEL」。今度の台北旅行にいかがだろうか? ホームページ(ここから日本語での予約もできる): <http://www.rivierataipei.com/jp/index.asp>

## 台北・繁華街の中心にある「TAIPEI WISH HOTEL」



ベッドルームでも大きなベッドが気持ちいい



広いバスルームは豪華な雰囲気



WISH HOTELは台北の中心街にある、アクセスが非常に便利なホテルだ

## 日本企業がはじめて台湾で上場:エルピーダメモリ

エルピーダメモリは2月25日、日本企業としてははじめて台湾証券取引所に上場し台湾での株式に代わる台湾預託証券(TDR)を発行。発行価格は21.3台湾ドルで初値は21.50台湾ドルとなり、発行価格を初値が約1%上回った。同社は台湾での上場を通じてアジア市場全体での認知度を高め、独自の事業戦略を進めやすくするのが狙いと言われている。

エルピーダメモリは2月25日、日本企業としてははじめて台湾証券取引所に上場し台湾での株式に代わる台湾預託証券(TDR)を発行。発行価格は21.3台湾ドルで初値は21.50台湾ドルとなり、発行価格を初値が約1%上回った。同社は台湾での上場を通じてアジア市場全体での認知度を高め、独自の事業戦略を進めやすくするのが狙いと言われている。

# TPP参加問題で国論二分 農業保護か、大企業優先かの岐路に立つ日本

TPP(環太平洋経済連携協定)への参加問題が、日本の農業の将来展望と絡んで国内を二分する大問題になりつつある。当面の政治課題は、菅政権が来年度予算と予算関連法案を国会で通すことができるかが焦点になっているが、TPPは目先の議論だけで済ませることができない重要課題といえる。

菅政権の是非は与野党問わず賛否の意見が分かれている。菅政権は6月までに結論を出すことを打ち出し、先の内閣改造でTPPに慎重だった大蔵省大臣を国土交通大臣に横滑りさせ、リベラな海江田万里氏を経済産業大臣に指名、TPP参加に向けた進路を示したが、農業団体の反対は根強いものがある。評論家の意見もふたつに分かれており、金子勝慶応大学教授のようにTPPのデメリットを強調する意見もある。

経済界は関税自由化の恩恵に乗り遅れることで、主要市場で出遅れてしまうことを心配し、早期のTPP参加を訴えている。ただしこれが日本経済に大きな恩恵をもたらすことになるかは疑問だ。例えば日本の自動車産業にとってTPPは大きなメリットはないという意見もある。自動車産業にとって現行の関税率は小さいため、トヨ



APEC CEO Summitで演説する菅直人日本国総理大臣。APECではTPPを受け入れFTAAPにつなげ、最後はアジア太平洋共同体まで持っていくとの「横浜ビジョン」が語られた

タ自動車のように国内生産を維持することを表明している企業も別だが、グローバル展開で海外現地生産が増えている現状では関税ゼロの恩恵は少ない。

自動車は装置産業であり、市場の近い場所で生産した方が有利なことも確かである。TPPに参加したからといって、グローバルな生産展開が中止になることはなさそう。タイに量販車の生産拠点を移した日産のような動きが強まる可能性の方が高い。部品産業なども安価な人件費と素材の調達を求めて海外に拠点を移すことにもなるだろう。

その一方で、農業保護に軸とする意見は、従来の農業保護政策の枠組みを出ず、農業従事者の高齢化問題や後継者不足にまで踏み込んで、建設的な意見は主流に

なっていないようだ。確実に言えるのは、小泉構造改革が始まった一連の規制緩和、そして景気対策のなかで競争産業の競争力を確保するための政策が重点的に取られ、農業対策や雇用対策など国内を豊かにするための政策が後回しにされたということだ。

実際問題として孤独死する老人、鉄道の「人身事故」の原因となる自殺者の増加。さらに中国、インドといった新興国の売上で企業業績は回復したが、大手企業は雇用の拡大を控えており、学卒者の就職内定率は過去最低の7割を切り過去最低。実質的には50%を切っている間い見方もされている。

就職で置いたものは、その後もなかなか正規従業員の道が開けず、派遣、アルバイトといった職を転々とし、次第に「ワーキングプア」に陥っていく。TPPへの参加によってこうした社会構造が変わるのか、どうか。輸出に強い産業の売

上が伸びればその利益の一部が中小企業に回り、あるいは従業員に還元されて、国内景気を引き上げると言われてきた。

その論法で、景気浮揚策などの手が打たれてきたのだが、現実には日本社会の格差を広げているのが現実だ。そうした延長線上にTPPを考えるならば、TPP参加によって日本の格差社会が広がり、それに加えて食糧安保のカギを握る農業までも破壊されるということになりかねない。

日本最大の労働組合組織である連合は、菅政権を支持母体のひとつ。鉄鋼、自動車、電気などの主要産業の労働組合が連合の担い手ともなっている。結局、TPPへの参加は主要産業の労使一体の要望でもあり、雇用や人権を守るべき組合のチェック機能が働きづらいついてくる。TPPへの参加問題、早い時期に広範な議論を生まないで日本の社会に豊かさが取り戻せない状況になりかねない。【青田信吾】

## 日本でITSスポットのサービスがスタート 高機能カーナビの登場が台湾経済にプラスをもたらすか

ITSスポットの運用開始となり、日本の自動車向けの次世代情報提供サービス「テレマティクス」の高度化が始まるようになっている。ITSスポットのサービスを利用するには、ETCと一体となった高機能カーナビゲーションシステムが必要。機器とコンテンツで市場規模は100兆円との予測もある。プームに火がつけば、日本のカーナビを一手に供給する台湾経済にとっても好材料になりそうだ。

ITSスポットサービスは、ETCと同じDSRC(スポット通信)通信方式を使って道路上に設置された無線端末と車載端末の相互通信を行う。道路と自動車間ではVICSと呼ばれる通信サービスが実施されているが、ビーコン方式を採用したVICSに比べて、ITSスポットは通かに大容量の情報を瞬時にやり取りできる。首都高を中心に機器の設置が完了し、3月末までに全国の高速道路上で1600カ所、さらに高速度道路のパーキングエリアや一般道に



ETCと同じ通信方式を使って新たなテレマティックサービスが始まった

設置された「道の駅」の一部、計50カ所余りでもITSスポットによる情報提供サービスが受けられることになる。

テレマティクスという言葉は「通信(Telecommunication)」と「情報科学(Informatics)」とで作られた合成語。さまざまな情報を外部から自動車に提供し、安全・快適なドライブをサポートするもので、これまではトヨタ自動車「G-BOOK」、

日産自動車「カーウイングス」、ホンダ「インターナビ」と自動車メーカー主体にサービスが提供されてきたが、今回、新たに官製テレマティクス「ITSスポット」が始まる。これにより日本国内でテレマティクスが一般的なサービスとして提供されることになる。

当面、ITSスポットで提供するサービスは、(1)ダイナミックルートガイダンス、(2)安全運転支援、(3)ETCその他サービスの3種類。情報量は違いは、VICSでは道路情報の提供は最大200kmだったが、最大1000kmの道路区間ごとの所要時間データが提供できる。このため、ダイナミックルートガイダンスという目的までの所要時間、渋滞情報を提供する基本機能を使うと、例えば、都心から福島県郡山に向かう場合に東北道路経由が早いのか、常磐道を使った方がよいのかまでの判断ができるようになる。情報量の提供が増大したことで広いエリアの判断ができるようになったわけだ。

このほか、安全運転支援では、先の見えないカーブでの前方渋滞情報や路上落下物の情報を提供し、注意喚起を行いサポートする機能がある。パーキングエリアや道の駅では、インターネット接続が可能になり、周辺の観光情報や施設情報の取得や一般のインターネットサイトの利用もできるようになる。しかし、こうしたサービスはまだほんの一部で、ITSスポットサービスをドライブスルーでの料金支払いや駐車場の利用料金支払いに利用する実証実験も始まっている。

サービスを利用するには「ITSスポット対応カーナビゲーションシステム」が必要になる。ETCの新タイプ、次世代型ETC車載器(DSRC車載器)でも音声情報だけ情報提供が受けられるが、日本人好としての主流は画面判断もできるカーナビ対応になりそうだ。現在、トヨタ自動車、パナソニック、パイオニア、三菱電機、三菱重工の5社が発売、トヨタは来月12月にマイナーチェンジした「マジスタ」でITSスポット対応のカーナビをオプション設定している。当面の普及は高級車からということになりそう。

ITSスポットに関連した市場は、機器とコンテンツで100兆円という予測されている。2013年に東京で開かれるITS世界会議に向けて、さまざまなアイデアが出てくることは間違いない。その一方で、携帯電話のカーナビ機能も普及。世界的には主流は解体電話になりそうなのだが、日本におけるカーナビのガラパゴス的進化が世界に受け入れられるのかどうか注目点といえる。【青田信吾】

舗の拠点で展開している。歴史は浅いが現在では高い知名度を持っている。「ラニュー」は戦略設定に成功したと消費者から評価されている。その理由は、靴業界には珍しく毎年広告に大幅な予算をかけている事、品質重視の「健康靴」としての認知度を高めている事、などが代表例だ。これらの相乗効果が支持された結果であり、こうした努力が功を奏し、一気に知名度が上がった。更にターゲットにした客層も的中した。そして2002年には「ラニュー」ブランドの健康商品の開発支援を目的とした「フット・ケアセンター」(足部研究所)を設立した。特殊シューズの製作が主力となるが、品質向上に向けた体制に余念がない。こうした取り組みが台湾の大手靴ブランドに成長した原動力と言えそうだ。

■東京で「ラニュー」店舗を開設する必要性  
2006年3月に日本に1号店を中央区銀座に開設した。同年に新橋店、自由が丘店と次々に店舗を上げ、健康靴として品質本位の戦略を日本市場で本格展開している。高品質として健康靴を提供する事が店舗開設の目的としており、現在、幅広い層からのニーズに応えている。目下、医師など富裕層の開発に尽力している。社長の劉保佑氏は、日本市場の成功に備え、商品の付加価値を高めるためにカンボジアに工場を設けている。税金制限のない事もこの場所を選んだ要因であるが、同時にコストも大幅に低減させることができた。まだ、完全ではないが「日本市場に進出するためには万全の努力をする」と力を注ぐ。「日本で支店を開くことは決して容易ではない。だからこそ、挑戦する価値ある」と述べている劉氏は、海外で支店を開こうと思ったときに、「日本」がまず頭の中に浮かんだという。国民所得(GDP)が高い、そして、台湾と同じく東洋文化である。さらには、日本人はよく歩く、そしてそれを見かねる状況ができて

■日本市場の現状について  
日本市場への進出はもちろん時間をかけて、人員を派遣して研究して出した結論であった。しかし、5年が経過して今、成績は当初予想したほどではないという。当初の戦略は「台湾と同様のイメージを重



LaNew劉保佑社長

視して広告に精力を出したが違うようだ」と述べた。そのため、日本市場の開発に関しては方向性を模索している最中である。としながらも「ゆっくり前進はしている」と劉氏は素直に話した。しかし、アジアにおいて、日本は重要な拠点であることに変わりはない、また、自社の靴に絶対の自信を持っている事から日本市場を諦めないという。最近、日本のお客様から下請けの要請が増えている。これはカンボジア工場設立が少なからず影響している。コストを抑えた事が要因とみられるが、日本のお客様にも「ラニュー」のブランド力、品質力に気づいてもらったものとして認識している。しかし、目標にはまだ距離がある。そもそも、銀座、自由が丘で店舗を出すには、ブランドや知名度を上げる意識を強める必要があるが、あえて険しい道を選択するのが成功の一番の近道と思っているからである。

■「ラニュー」を世界に通用する「ブランド」に作り上げる  
劉社長は日本の市場に進出する最も大きな理由は、世界市場において日本は一つの象徴であり、一つの大きなステップアップであろう。彼は世界を視野に入れており、このブランドを世界に広げようという野心が窺える。

ラニューは毎年外国の山への登山ツアーを組んでおり、台湾のラニューのファンを約1千人連れていく。昨年は富士山、阿蘇山など日本の山への登山ツアーを集中的に組んだ。

## 抗菌・抗カビ加工の日本認証製品販売 東アジアで開始

繊維製品の清潔・衛生・快適性を保証する日本の認証マーク「SEK」マークを付けた各種製品の販売が、台湾を始め中国、香港、韓国の東アジア市場で4月から始まる。SEKマークの認証事業を行っている「繊維技術評価技術協議会」(JTETC)が、これらの国・地域でSEKマークの商標を取得、同マークを付けた販売を可能にした。SEKマークは1989年に繊維製品衛生加工協議会の「防臭抗菌加工マーク」としてスタート、現在は繊維評価技術協議会(JTETC)に組織が変わり、所定の性能評価と安全性試験をクリアした製品だけが認証を受け、「S=清潔」「E=衛生」「K=快適」の頭文字をとったマークを付けることが認められている。

ただしSEKマークを付けた製品は海外で生産することは可能だったが、販売は日本国内に限定してきた。業界の要望に応え、中国市場の拡大などを背景に海外販売も可能にすることにしたもので、日本発の高機能繊維製品ブランドが高級品として東アジア各国に受け入れられるのかどうか注目されそうだ。

現在のSEKマークはその機能性に応じて色分けされており、(1)抗菌防臭加工の青ラベル、(2)抗菌加工一般用途用の橙(だいだい)ラベル、(3)医療用など特定用途抗菌加工の赤ラベル、(4)抗カビ加工の

緑ラベルの4種が使われている。当面、東アジア各国での販売が認められるのは「青ラベル」からで、次の段階で抗カビ加工の緑ラベルの製品販売を認めることを計画している。

適用を受けるには日本法人がSEKマークを取得することが前提で、SEKマーク付きの繊維製品をSEKマークの商標が認めら得ている国・地域で販売することが可能となる。JTETCはすでに台湾、中国、香港、韓国で商標を取得している。

日本国内の抗菌防臭、制菌加工製品の市場は100億円ほどといわれるが、加齢臭を防止する高機能肌着などとして注目を集めている。靴下やインナーウェア、スポーツウェア、寝具、カーペットなどさまざまな製品が発売されているが、さらに差別化のために頻りに選択しない女性用アウターなどの製品にも広がりを示している。

JTETCの加盟企業は繊維素材からアパレル、卸、関連薬剤メーカーなど186社、SEKマークを国際的に通用させるため、2008年に国際標準であるISO/IEC65の認定を受けている。東アジアで高品質、安全性を売りにした日本製品に対する根強い支持はある。高機能繊維製品の信頼を示すSEKマークがこうした地域でブランド浸透すれば、日本製品の販売機会拡大につながるということになりそうだ。【青田信吾】

### モニカ・ウーさんのライブ

モニカ・ウーさんの歌声はいつも澄んだ歌声だ

ライブ会場には多くのファンが訪れた

2011年2月10日、飯田橋のライブハウス・スペーススイズで、他のアーティストとともに台湾出身のシンガー&ソングライター「モニカ・ウー」さんのライブがあった。久々のモニカ・ウーさんのライブは聴き応え充分。締めを飾ったオリジナルの「シカゴ・ナイト」では会場から多くの手拍子と拍手があった。

# 慶祝中華民國建国百周年記念文化芸術団 日本公演「聲聲不息」Circle Of Voice

2011年2月12日、東京・浅草の浅草公会堂で、日本中華聯合總會主催の「慶祝中華民國一百年・春節文化訪問團亞州地区巡迴訪演/Circle of Voice 聲聲不息」が開催され、関東近辺の在日華僑同胞とその友人の日本人なども集まり、盛況だった。

公演にあたり、主催者の日本中華聯合總會・劉東光会長から、中華民國百年を祝うむねの挨拶があった。それに続き、来日中の中華民國・僑務委員会の副委員長・任弘氏から在日の華僑同胞に向けての新年の祝辞と、この公演が春節をはじめに世界を回るが、日本がその最初の国になることなどを語った。続いて台北駐日経済文化代表処の趙雲華僑務部長が挨拶。文化

を通じての交流の大切さについて語った。会場には台北駐日経済文化代表処の羅坤燦副代表、中華民國留日東京華僑總會の朱恭亮会長など関東とその周辺の華僑団体の代表者なども訪れ、約600名程の参加となった。

公演は「神秘失控人聲樂團」(SEMISCON Vocal Band)のすばらしいアカペラ(楽器を使わず、歌だけで構成されたもの)。よく知られているポピュラー音楽から、「阿里山」など台湾の楽曲、そして、最後にベートーベンの第九交響曲などを、すばらしいハーモニーで聞かせてくれた。その後、アンコールにこたえ、さらに台湾の曲を一曲。このときは、会場も総立ちになり、すばらしいフィナーレとなった。



主催者の日本中華聯合總會の劉東光會長



素晴らしいアカペラの歌声で会場は沸いた



台北駐日經濟文化代表處の趙雲華僑務部長と中華民國・僑務委員会の副委員長・任弘氏

## 原聲芸術団：横浜中華学院を訪問



原聲芸術団のみなさん



横浜中華学院の舞踊チームとの交流も楽しい

2011年2月7日、前日6日の第6回目黒区国際交流協会のイベントに参加した台湾の民族舞踊団「原聲芸術団」は、7日、横浜中華学院の校庭で、同学院の子供たちと交流会を行った。当日は学院長の施惠珍さんや同学院の民族舞踊チームだけではなく、台北駐日経済文化代表処・台北文化センターの秘書・薛銀樹氏も訪れ、子供たちと一緒に、芸術団のリズミカルな踊りを楽しんでいた。芸術団を率いる林照玉さんの素晴らしい歌と、子供たちの手拍子をリードする団長の高學宗氏が一体となって、子供たちも踊りの輪の中で楽しい時間を過ごした。



学生と楽しいひとときをすごした舞踊団の面々

## 100年春節文化訪問團亞州團歡迎会

2011年2月11日、翌日浅草公会堂にて開催される「聲聲不息」Circle of Voice・慶祝中華民國建国百周年春節文化訪問團亞州地区巡迴訪演のメンバーの歓迎会が、東京、浅草で行われ、来賓として台北駐日経済文化代表処の羅坤燦副代表、日本中華聯合總會の劉東光会長をはじめとした、在日の華僑団体の主なメンバーが顔を揃え、約50人の参加者があった。

また、特別来賓として、中華民國政府僑務委員会の副委員長である任弘氏のご夫妻も招かれ、賑やかな歓迎会となった。



文化訪問團のメンバー



中華民國政府僑務委員会の副委員長である任弘氏のご夫妻を囲んで

## 第6回MIFA国際交流フェスティバルで 台湾原住民歌舞芸術団が熱演

2011年2月16日、前日15日から開催された「目黒区国際交流協会(MIFA)国際交流フェスティバル」で、台湾からの台湾原住民歌舞団が、様々な国の出し物の1つとして、公演。パワフルな台湾の原住民の踊りを披露した。歌舞団は「世界中で多くの公演をこなしている」ことを紹介。そのダイナミックな踊りに、会場は沸いた。



芸術団の芸術總監・林照玉さんの歌と踊りも披露された



激しい動きの踊りも台湾の民族舞踊にはある



カラフルな衣装と特徴のある踊りが印象的だ

## 台湾の中のアメリカの面影：中興新村

台湾の南投県・南投市には「中興新村」がある。ここは、行政を行うために作られた人工の都市だ。中華民國台湾省の省都だが、現在は行政の中心機能が台北に移っているため、ここは機能していない。イギリスの田園都市を手本とし、オフィスの建物はほとんど白。その周辺に行政を司る役人の住居が並ぶ。その街並みは、米国の高級住宅街を彷彿とさせるものだ。1950年に建設が始まり、1957年に「省」の中心機能がそれまでの臨時の首都とされていた台北から移された。しかしながら、1998年以来、中華民國では政府機能は台北市にふたたび移っている。

台湾を「台湾島」として領有権を主張している現在大陸を事実的に支配する中華人民共和國も台湾を「台湾省」としており、また、現在実質ここを統治している中華民國もこの地域を「台湾省」と呼び領有を主張している。現在、この2つの主張は折り合うことなく、「棚上げ」の状態となってい



中興新村の中興會堂(省の議事堂)。このプレートには連戦氏の名前が見える

る。もともと台湾の地域には清の時代に国防上の理由から「台湾省」を置いた。その後辛亥革命で清が倒れると、中国大陸の広大な地を清から中華民國が受け継ぎ、台湾省もそのままその一部として受け付いた。しかし、中華民國政府が中国共産党とのたたかいに敗れると、中華民國政府は台湾に逃れた。そこで旧来の中華民國を受け継いだ。まさにその「台湾」の地域そのものがかつては中華民國の一部で

あった「台湾省」に重なることとなり、一地方の自治体であった「台湾省」の地域そのものが、「中華民國」の地域そのものとなった。つまり台湾には、その時点で地方自治体である「台湾省」と、国である「中華民國」が同じ地域を持つ、という複雑な事態となった。

そこで「中華民國政府」は台北に残し、「自治体である台湾省の政府」は、中興新村に置く、ということにした。

中華民國が地方自治体としての「台湾省」をそのまま残したのは、中華民國政府が再び大陸を含めた広大な地域を取り戻す、ということが前提だったからだ。もちろん、これらの自信の裏側には、第一に台湾人の自信、第二に台湾を「西側」として支えた強大な国、米国のいたこととも言ってもいい。今でも台湾を走るクルマやバイクのナンバープレートを見ると「台湾省」と書いてあるのを見ることができる。クルマは「台湾省」という地方自治体の管轄なので、この名前がまだ残っているのだ。

中興新村は国との混乱を避けるために、地方自治体である「台湾省」の人工の省都として作られ、そして1998年以來「省」の機能は凍結されている。今でも、台湾省の議事堂の額には、昨年APECで日本にもやってきた元副總統の連戦氏の名前が見える。

台湾らしさというよりも、冷戦の時代の西側らしさ、あるいはアメリカらしさという面影がある「中興新村」。その中央にある台湾省庁の真っ白い建物は、今でも大陸のほうを真っと見ている。その正面には、「省」という機能が凍結された今も台湾の青と赤の旗がはためいている。

## 馬總統「中国」の名称使用を禁止

中華民國(台湾)の馬英九總統は2月7日、台湾政府各省庁の首長に対して現在の「中華人民共和國」の呼称を、「中国大陸」または「大陸」と呼ばなければならないとし、公文書での「中国」の呼称の使用禁止を指示した。この発表の中で、馬總統は、「大陸」を「中国」と呼ぶことは、「中華民國が唯一の中国」との「中華民國」憲法の精神に反し、「一つの中国」を各自表明する「1992年合」に反するものである

と説明した。馬總統は「台湾も中国大陸も中華民國(中国)の一部」との政治的主張をこの発表に込めたとされている。これは馬總統の公約である「不統、不独、不武」の「不独」(台湾独立せず)を表現したもので、「一中一台」や「2つの中国」を否定し、「一つの中国」を堅持していることを「大陸」に対してアピールし「兩岸」の経済関係強化などを促進する狙いがあると見られている。

慶祝中華民國(台湾)建国100周年記念

### 目・台芸術家交流 四人展

台湾  
林舒祺(篆刻)  
陸橋京子(水墨画)

日本  
中島裕司(洋画)  
澤田利光(陶芸)

2011年4月5日(火)~10日(日)  
10:00A.M.~6:00P.M.(最終日5:00P.M.まで)

〒530-0005  
大阪市北区中之島5-3-68  
TEL:(06)6448-1121  
FAX:(06)6448-0903  
■リーガロイヤルギャラリー  
(リーガロイヤルホテル1F)

JR大塚駅から・・・西側高架南寄り(JR大塚駅・桜橋口から起こしてください)約6分間隔にて運行

後援:【日本】河内町・大阪府議会日本親善議員連盟・大阪市議会日台友好議員連盟・大阪日台親善協会・大阪日台交流協会・奈良日台親善協会・大阪大学同窓会連合会・塚本学院校友会(大阪芸術大学同窓会)・タリフジ・大阪日台新聞社・朝日カルチャーセンター・近鉄文化サロン・同慶義塾(明日香村)・船通神社(泉佐野市)・長岳寺(奈良県)  
【中華民國(台湾)】台北駐日經濟文化辦事處(總領事館)・中華民國留日大阪中華總會・大阪中華總會婦女會・中華航空・台湾新聞社・自由時報 敬啟

# 小林幸子さんに「台湾観光貢献賞(賞)」

2011年2月15日、台北の圓山大飯店で、「2011観光節慶祝大会(台湾観光フェスティバル祝賀大会)」が行われ、馬英九総統他関係閣僚が出席し、台湾の観光事業をたたえた。2009年からは、特に大陸からの観光客の誘致に力を入れたため、観光産業の規模は前年比で14%以上、2010年はさらに前年比26%以上に広がった。

台湾への観光客数も2009年で439万人、2010年で556万人と増加。観光による収益も2009年で約3千億元、2010年は5千100億元と急激に増加。今後のさらなる台湾の観光産業の発展に期待することが語られ、これまで掲げられた目標「投資の増加」「質の向上」に加え「内容の充実」を大きな課題にする、ということが語られた。

さらに台湾の長年にわたる教育の成果として、大陸とは違い、中華文化にある「温、良、恭、俊、讓」という良い面が台湾に根付いていると、大陸から訪台した著名な画家、陳丹青氏が語ったことなどが語られた。

馬總統のスピーチの後「旅行台湾・感動100」のメイン式典が行われ、馬總統の他、呉敦義・行政院長、毛治国・交通部長が出席。式典では日本から来た歌手の小林幸子さんに「台湾観光貢献賞」が、台湾観光協会の巖長壽理事長、米国ハワイ大学観光ホテル管理学院のChuck Y Gee名誉院長に「生涯成就賞」が手渡され、米国CBS放送、米国の球団・Los Angeles Dodgersも、台湾観光に貢献したとのことで表彰された。



馬英九總統與写真に収まる小林幸子さん。画像提供(C)台湾観光局

# 第58期 囲碁王座就位式

2011年2月7日、日本経済新聞社/日本棋院/関西棋院主催の第58期囲碁王座就位式が、東京の帝国ホテルで行われ、各会の関係者が集まった。

今年の王位は、3年連続で台湾出身の張栩氏が獲得。苦しい戦いだったが、最後はなんとか勝てた、と感想を語った。また、来賓として台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表が祝辞を述べ、台湾と日本のこれまでの深いつながり、今年が中華民国建国100年にあたること、昨年は日本と台湾にとって東京・羽田-台北-松山空港の定期便ができるなど、さまざまなことが実現した年であり、大変に意義深かった年であったこと、そして、囲碁を通じての台湾と日本の文化の交流のより一層の進展を望む、ということが語られた。

最初に挨拶に立ったのは、日本経済新聞社の杉田亮毅会長。続いて、日本棋院の大竹英雄理事長。さらに、関西棋院の常務理事である今村俊也氏が立つ予定だったが、今村氏は多忙のため代理の方が話に立った。

さらに、王座允許状の授与と王座賞の贈呈が行われた。その後、台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表が挨拶に立ち、



王座の喜びと自信にあふれた張栩氏



挨拶に立った台北駐日経済文化代表処・馮寄台代表

乾杯の音頭は第8代のユネスコの事務局長を務めた松浦晃一郎氏が行った。

# 台湾出身女性棋士謝依旻氏 「女流本因坊」を獲得「十連覇を目指す」

台湾の苗栗出身、現在21歳の棋士・謝依旻さんは再び「女流本因坊」を獲得した。その第29期女流本因坊の就位式は1月21日に第一ホテル東京にて行われた。謝さんは感謝の言葉を述べると同時に、十連覇を目指したいと語った。今回は彼女の家族も台湾から出席した。謝さんは挨拶の中で、今回のたまたかも容易ではなく慎重に臨んだと、謙虚な姿勢でたたかいたの様子を語った。また、昨年は世界レベルの試合で優勝できず悔しかったが、努力を重ね、実力を上げて再度挑戦したいとも語った。

就位式では共同通信社長石川聡氏が最初の挨拶に立った。彼は昨年謝さんが世界の試合で韓国チームに負けた時の涙ながらの顔を忘れられないと語り、今後ともより精進し、実力の進歩を期待す



カップを手に笑顔の謝依旻さん

ると結んだ。続いて日本棋院理事長大竹英雄氏は謝さんにに対し、5連覇、6連覇、そして世界を目指して、後輩をリードする女性のパイ

オニアになってほしい、と期待を込めて語った。

次に挨拶に立った岩手日報社の取締役東京支社長・吉田誠一氏は謝さんが更なる勝利を得ることを期待すること、そして、今回の試合は岩手にて行われたため、謝さんの努力する姿は岩手の子供たち、特に高校生の囲碁に対する興味を引き起こしたと語った。

最後に祝辞を述べたのは台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表。馮代表は謝さんへの祝辞の後、自身が代表を務めるこの二年間に、政治、経済面において台湾との交流はますます盛んになり、その中でも、今年8月に宝塚が台北で公演することがやっと実現できたことなどを語り、今後も囲碁を通じた日台の文化交流が進むことを期待する、と語った。

# 社団法人亜東親善協会・新春互礼会

2011年2月15日、東京のホテル・ルポール麹町にて、台湾と日本との相互の友好を目指す社団法人亜東親善協会主催の平成23年新春互礼会が開催された。また、互礼会の開催に先立って、第一次イラク復興業務支援隊長として活躍し現在は参議院議員である佐藤正久氏が「私たちの守るべきもの」と題し講演を行った。佐藤議員は講演の中で「日本は個人主義に走っているが、これは他国との関係をゆがめ、日本が世界に置いて行かれ埋没していくことにつながる。日本の良き伝統的価値観を守ることが大切である」と語った。

互礼会では亜東親善協会会長の玉澤徳一郎会長、財団法人・交流協会理事長の島中篤氏が挨拶に立ち、また大江康弘参議院議員も訪れた。また、台湾側からは台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表、在日の華僑団体のトップ、在日の台湾人留学生なども出席し、華やかな新年の会となった。

玉澤会長は、亜東親善協会は、アジアの平和を守るため設立されたこと、日本と中華民国が国交を断絶した時に、国と国との交わりはなくなっても、双方の国民と国民の間における友情と信頼が強く存在するものであることを語った。

また、台湾側挨拶に立った台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表は、代表が日本に赴任して2年間のあいだに、札幌分処の開設、日台相互のワーキングホリデー



参加者全員で記念撮影

実施、東京・羽田空港-台北・松山空港の定期便就航、日本に居留する台湾人の外国人居留カードの国籍欄に「台湾」の表記ができるようになったことなどの成果を掲げ、これからもよりいっそうの日台関係の促進が行われるであろうことなどが語られた。また、台湾と日本の間を行き来する観光客の増加もあったことなども語られた。さらに、中華民国建国100年に当たる今年も、多くの記念行事が行われることが語られ、互礼会参加者にも、多くの参加を望むことなどが語られた。

交流協会の島中理事長は、羽田・松山便によって日台の距離が縮まったこと、台湾各地の大学で「日本語研修センター」が設置され、交流協会もその一翼を担っていることなどが語られた。

また、孫文の孫にあたると思われる宮川東一氏の挨拶もあった。

# 台湾の大学に進学しよう!

日本で言えば九州ほどの国土の台湾には、大学が160もある。そのうち130あまりの大学が日本人留学生を受け入れてくれる。日本で言えば東大にあたる「台湾大学」を筆頭に、多くの大学が日本人留学生を受け入れてくれる。しかも台湾の大学のレベルは世界的にも非常に高いことで有名だ。

台湾全体での正規の日本人留学生の受け入れ枠はおおよそ2500人分あると言われているが、現在日本人留学生は毎年50人くらいしか行っていない。ガラガラに空いているのだ。また、日本人であれば、外国人枠を利用して、現地の台湾の人たちよりも有利に大学に入学が可能だ。日本での成績証明などがあれば、試験無しで入学できる。しかも大学の学費は入学金なし/年間の学費は私立も国立も30万円ほど、日本から見れば「格安」だ。しかも、物価は日本より安いから、留学中の生活にかかる費用も日本よりはるかに低い。

しかし、心配なのは「言葉」だ。台湾の大学に正式に日本人が行くには、中華民国政府が年に二回行っている「華語検定(TOP)」で一定以上の点数を取っているとより有利だが、過去に中国語の勉強をしていた場合はその学習歴の証明書を出すことで、代えることができる。まったく経験の無い場合で、語学学習には800時間



台湾の学生のあたたかな人柄に触れられるのも台湾留学での良い経験だ

から1500時間の中国語学習が必要とのこと。

日本人もこれからは英語に加えて中国語の学習が当たり前になる世の中になることは間違いない。このさい中国語は勉強しておくにこしたことはないと思うが、中国への留学はハードルが高いだ

けではなく、大学のカリキュラムにも「共産主義の学習」がどうしても入るし、中国の人たちの対日感情も良くない。加えて中国の大学では外国人は中国人とは別枠で授業することが当たり前、と聞くと、やはり中国への留学は躊躇してしまうのではないだろうか?

これから就職にも有利になると言われている中国語を習いつつ、気持ちのよい環境で高度な教育を身につけることができる「台湾留学」は、いま日本でも注目を浴びてきている。「台湾」は日本の若者を変えていくかも知れない。

台湾の留学については、台湾の留学ガイドなどはネット上で多く見ることが出来る。また、台湾留学専門の「台湾大学進学予備校」も、日本にある。その講師を務めている安藤美保さんにお話を伺ったところ、台湾の大学は日本人でも入りやすく、またこれからの時代に必須な中国語も気持ちよく学習できるので、お勧め、とのこと。日本にも台湾留学ブームは来るだろうか?

**100%海洋性コラーゲン 美鱈物語**

特別抽出法利用。天然の魚鱗から抽出されたフィッシュコラーゲン。無汚染で安全。飲むフィッシュコラーゲン。無添加で安心。低分子量。消化吸収がしやすい。高品質 45000mg 配合。

詳しくはホームページへ <http://scaletalk.jp> お問い合わせ 03-5812-4868 info@scaletalk.jp

株式会社 興至 東京都台東区上野 3-21-1 宮本ビル2F

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

# 嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第2-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥23,000(税別)	北京 ¥23,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥29,000(税別)
香港 ¥24,000(税別)	曼谷 ¥21,000(税別)	新加坡 ¥37,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證、臺灣證、港澳●日本國內觀光、溫泉、滑雪旅行●世界各地便宜機票、酒店及團體旅行●來日團體的接送、送車、導遊●電腦訂位、迅捷、確實

精通國、臺、日語服務親切 銀行匯款口座 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店 (普) 3678888 (名義) 嘉南觀光(株)

營業時間：週一～五 9:30～18:30 週六 9:30～13:00  
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989  
地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

♥2011年 日台お見合いパーティー開催♥

■日本人と台湾人の結婚を台湾新聞社がサポートいたします

♥募集人数: 24名(12組)(予定)  
♥開催日時: 2011年4月24日(日)/受付は4月8日まで  
♥開催場所: 台湾新聞社9階イベントハウス  
♥参加費用: ¥3,000円  
♥参加資格: 30歳～50歳の独身の男女/台湾人・日本人との結婚を真剣に望む方/出身が台湾及び日本の方/当日身分証明書を提示できる方/結婚を前提とした真剣な出会いを求めている20歳以上の独身男女/法的社会的に結婚を認められている方/他の異性との婚約や同棲とみなされる状況にない方

■お問い合わせお申し込み メール: info@taiwannews.jp  
電話: 03-3987-6379 (台湾新聞社・陳まで)  
■お申し込みのさいは下記項目を必ずご記入ください  
お名前/お名前フリガナ/郵便番号/住所/年齢/国籍/性別/ご連絡先電話番号/ご連絡先メールアドレス/その他のご連絡先(Facebook/mixi等SNSの種類とID)/コメントがあればコメント等

# チャイナエアライン・台北-大阪-NY便就航

チャイナ エアライン日本支社(支社長:楊辰(SteveYang)氏)では、2011年3月、台北-ニューヨーク便の既存の週3便を本年4月28日から「台北-関西-ニューヨーク」便とし、関西在住の利用者の利便性をさらに向上させることを発表した。

チャイナエアライン大阪支社の羅皓明支社長によれば、この便は将来1週間に10便への増便を予定しているとのこと。また、関西地区を中心に、チャイナエアラインのネットワークを構築し、大阪-台北(週7便)、大阪-高雄(週2便)、大阪-NY(週3便)という路線構想もあるとのことだ。なお、現在は大阪-高雄便はチャーター便として週2便が運航中。

これらの便の増便は関西の各自治体や企業などにも大きな歓迎の声をもって受け入れられており、3月26日、27日に関西空港株式会社の主催で関西国際空港とその周辺施設で開かれる「関西旅博」でのチャイナエアライン出展時にも発表されたとのこと。4月27日には就航記念のパーティが予定されており、翌28日の就航開始時には、テープカットなどの行事

が空港内で華々しく行われる。

また、楊日本支社長の指導の下、大阪支店は大幅な拡充を計画しており、現在大阪での現地スタッフを22名募集中。加えて東京からの転籍で10名を補充することにより、雇用においても関西経済に貢献しているとの声が高い。

なお、チャイナエアラインは、昨年9月にSKYTEAMとの契約を締結。SKYTEAMメンバーとしての準備を進めていたが、今年9月に正式加盟となる。



チャイナエアラインの楊辰・日本支社長  
チャイナエアラインの羅皓明・大阪支店長

## 台北-大阪-NY便一覽(4月28日より)

就航日	機番	出発地/行き先	出発時刻/到着時刻
月/木/土	CI020	台北/大阪	0815/1135
月/木/土	CI020	大阪/ニューヨーク	1315/1325
月/木/土	CI019	ニューヨーク/大阪	1525/1845+1
火/金/日	CI019	大阪/台北	2015/2205

# 台北駐日経済文化代表処那覇分處處長粘信士氏が沖縄知事・仲井真弘多氏と面会

台北駐日経済文化代表処那覇分處處長粘信士氏は2月18日に、沖縄知事仲井真弘多氏と面会した。台湾と沖縄の親密な関係を強調した他、現在、建設中の物流センター「台北港」と沖縄港の交流を通じ、双方がさらに有益な関係を築くことを望む、と粘信士氏は語った。また、粘信士氏は昨年(2010年)4月に台日交流協力覚書が締結され、「官民一体」政策の一環として、IT産業促進が沖縄にて推進されることになったことにも言及。双方のIT産業の交流に協力すると前向きに語った。

また、粘信士氏は日本のシンクタンクによると、台湾企業と協力し大陸に進出した日本企業の成功率は78%、単独で大陸に進出した成功率は68%であることを示し、大陸進出には双方がお互いに協力し合うことが明らかに有利であることを語った。最後に、粘信士氏は仲井真弘多知事を台北国際花博覧会に招待することを語り、



台北駐日経済文化代表処那覇分處處長・粘信士氏と沖縄知事・仲井真弘多氏

日台双方が実質的な協力関係を強化し、覚書にもある「地方交流」の精神を実践することを期待する、と結んだ。これに答え、仲井真弘多知事も台湾と沖縄の緊密関係を長く持続させるため、今後も双方の交流を維持すると述べた。

# 大阪で2011年在阪華僑春節祭が盛大に開催

中華民國建国100周年および2011年の春節(旧正月)の祝賀会「2011年在阪華僑春節祭」が2月6日に、大阪市浪速区の大阪中華学校で開催された。同祝賀会には中華民國留日大阪中華總會が主催し、関西地区の各僑胞団体、台北駐大阪経済文化弁事処、日本側の友好団体など計29団体・機関などが共催者として名を連ねた。

同式典には台湾側から薛盛華・僑務委員会副委員長、馮寄台・台北駐日経済文化代表処代表、黃諸侯・台北駐大阪経済文化弁事処代表、洪勝信・中華民國留日大阪中華總會会長らが出席したほか、日本側からも竹本直一・衆議院議員、長田義明・大阪府議会議長、川合通夫・日華親善議員連盟会長ほか大阪府・市議員、浅野広子・浪速区長らが出席した。入場者数は5,000人を超え、在阪華僑や地元の住民らが会場につめかけ、交流を深めた。

主催者を代表して挨拶した中華民國留日大阪中華總會の洪勝信会長は、中華伝統文化と台湾の美食を通じて、僑胞と日本人の人々との交流が一層深まる事を願っている、と語った。

僑務委員会の薛副委員長は祝辞の中で、海外の僑胞が一致団結して政府の政策を支持し、台日両国の国民がお互いに学び合い、交流し、台日関係の発展を増



紹興酒の饗開き

進させていくよう呼びかけた。

今年で「在阪華僑春節祭」には3回目の出席となる馮・駐日代表は、「関西地区の僑胞および日本人の人々と春節を祝賀できることは大変光栄である」と挨拶。ここ数年間で台日関係は駐日代表処札幌分処の開設、東京羽田-台北松山の航空路線の就航、台日ワーキングホリデー協定の締結などの進展があり、台日間の貿易額や観光客の往来者数も増加しており、現在では台日関係がきわめて緊密であることを強調した。

今年で11回目となる「在阪華僑春節祭」の会場には、台湾観光のパフレットの配布や、台湾のさまざまな美食コーナー、パザーのコーナーなどが設けられたほか、「三国演義」の仮装行列や、中華学校の生徒らによる獅子舞、民族舞踊、中華歌謡、二胡演奏などが披露された。

# 傑人會日本總會 新年會

2011年1月25日、DCS JAPAN国際傑人会日本總會の新年会が東京で開かれ、来賓として、台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表と業務部の林郁慧秘書も参加し、理事、会員を含め約25名の参加があった。

「傑人会」は、台湾に本部を置き、台湾と日本両国の友好・親善を深める事を目的とした活動を行っているボランティア団体。

会員一人ひとりが傑人たること、また傑人を育成することを目標に活動を行っている。活動は、会員間の友情、友好を深めるための定期的なミーティングの他、地域社会への奉仕のための地域の清掃活動等にも力を入れている。「共に語り、共に喜び、共に憂える」事を理想としていま

す。さらに、国際交流と福祉活動や勉強会などを通じ日台間の文化交流活動を行っており、国際社会に貢献するためボランティア活動も広範に行う。

謝張芳珠会長は挨拶の中で、「自分の在任期間中の勤めは、会員を増やすこと、日台双方の社会に貢献できる活動を、より強化すること」と語り、会員からの拍手を浴びていた。



馮寄台代表を囲んで

# 建国100年中華民國(台湾)留日東京同學會春節圍爐團圓飯

2011年2月5日、中華民國(台湾)留日東京同學會主催の春節を祝う「建国100年中華民國(台湾)留日東京同學會春節圍爐團圓飯」が、東京、大久保の台湾料理店「龍門館」で開催され、台湾から日本に留学している学生と来賓約70名の参加があった。来賓には中華民國留日東京華僑總會の朱慕亮会長をはじめとした東京華僑總會の幹部も訪れ祝辞を述べた。宴も半ばでは、抽選の時間となり、チャイナエアライン、エバー航空、台湾新聞社など多くの会社からの記念品が当たった。その都度、会場からは大きな拍手が沸きあがった。各テーブルに挨拶に来た学生は、ある人は、これから兵役に行くところだ、と、あるいは、ある人は福島から出てきてこの会に参加した、という人もいた。さまざまな台湾からの留学生が東京の地で知りあい、楽しいひと時を過ごした新年会だったが、それぞれの進み道はそれぞれ。中華民國建国100年のこの年の、これからの参加者の活躍を期待したい。



台湾人の日本留学生の賑やかな宴が始まった



抽選会ではさまざまな賞品が当たり、盛り上がった

# 琉球華僑總會新年会開催

中華民國100年(2011年)2月13日、琉球華僑總會新年会がパシフィックホテル沖繩にて開催された。今年には中華民國100年という記念すべき年であり、この



冒頭に挨拶に立った琉球華僑總會・林国源会長

新年会が琉球では今年初の回となった。冒頭では、琉球華僑總會・林国源会長が新年の挨拶を述べた。また、今月から新たに台北駐日経済文化代表処・那覇分處に着任した粘信士氏も訪れ祝辞を述べ、盛大な新年会となった。挨拶には、粘信士氏、上原良

幸沖繩県副知事、翁長雄志那覇市長、島尻あい子参議院議員が立ち、それぞれ新年の祝辞を述べた。乾杯の音頭は儀間光男浦添市長がとった。当日は、アトラクションとして台湾の民族舞踊だけではなく、地元・沖縄の団体による日舞・琉舞も披露された。(資料、写真提供:琉球華僑總會/台湾新聞にて編集いたしました)

為華僑青年男女搭起友誼的橋梁

**僑民結婚相談所を開設しました。**

どうぞお気軽にご相談ください  
**(秘密厳守) 安心、安全**

主催者: 大阪中華總會  
婚姻コンサルタント: 許彩銀  
(元大阪辦事處勤務 36年)

〒542-0083 大阪市中央区東心橋  
1-8-22 中正ビル 423  
TEL: 06-4963-3667

~會員募集~

**國際傑人会日本總會 DCS JAPAN**

會員: 年會費5,000円  
(理事2名推薦が必要)。

(會員は各交流会や活動、總會に参加する、出席権、會員大會の表決権あり)。国籍問わず。

事務局  
〒105-0012  
東京都港区芝大門1-4-4-1001  
問い合わせ:  
電話: 03-3433-4088  
FAX: 03-3438-3583

# 2011年日本台湾人医師新年会 ニューイヤーコンサート

2011年2月6日、東京・半蔵門のホテル・モントレで、「2011年日本台湾人医師新年会」が開催され、その第一部はニューイヤーコンサートとして、音楽のコンサートが行われた。第二部はコンサートに続き、懇親会となった。

最初にステージに立ったのは、台医人アンサンブルのみなさん。バイオリンが黄新民さん/美原由紀さん/王紹英さん/須藤由丹さん、ピアノが林正敏さん、チェロが須藤真賢さん/陳羿淇さん、バスーンが王美玲さん。曲目はバロック音楽の定番・ビバルディの「四季」。

それに続いて吉野輝雄さんのサクソのソロ演奏。ラテンの名曲「ベサメムーチョ」の演奏では会場が静かになった。続いて、オカリナの演奏は呂淑珍さん。オカリナは簡単なようでいて、なかなか難しい楽器だが、呂さんはきれいな音を出して会場を魅了していた。続いて、ギターの河田啓暉さん。聞かせるギターソロの後は、ギターをバックに須藤守真さんのソプラノの歌が加わった。ギターが終了すると、須藤守真さんの歌。声量のある美しいソプラノと、華やかな雰囲気映画「マイ・フェア・レディ」の挿入曲「I could have dancing all night」に会場は沸いた。続



張瑞銘さんの歌を中心に歌われた「エーデルワイス」

いて須藤守真さんとプロのテノール歌手で現在は中華学校の教師をしている張瑞銘さんのデュエット。そして、張瑞銘さんのソロへと続いた。最後に、出演者全員で映画「サウンド・オブ・ミュージック」で歌われた「エーデルワイス」を歌った。小さな白い花、エーデルワイスのことを歌ったこの歌は、映画ではナチス・ドイツに占領された祖国オーストリアを思う歌として歌われるが、台湾人のコンサートで歌われると、その本来の意味と、台湾の置かれた立場などをつい重ねてしまう。



### 台湾で活躍する日本人テレビ司会者-MATSU

## あっさりと国境を越えていく台湾発の情報

映像や出版物は世に出た途端、もはや作者の想像も寄らぬ動きをして広まってしまう。

書籍を出版するに至った。巡ってきた台湾の多くの地方から、純粋に「お薦めしたい」という美食を集め紹介したガイド本、出版社のスタッフやカメラマン、イラストレーターなどスタッフの尽力の賜でもある。構想から数ヶ月、カラフルな本のサンプルを手にした時、手がけたテレビ番組が初めて放送された時とは若干異なる実感がこみ上げた。映像とは違う「作

品」……。本にはナンバーが割り当てられ、台湾の各図書館にも貯蔵されるとのこと。ものを残すことの意味を再確認した。

私が製作するテレビ番組は台湾を発信基地として、テレビネットワークや動画サイトなどを通じ、中国や、移民の多いアメリカ、カナダでも視聴されている。以前、四川省成都を撮影で訪れた際、「大口のマツ!」と声をかけられ、台湾人の観光客かと思いきや、中国の視聴者だと知り、驚いた。アメリカからは「子供には、マツの様にバックパックの旅をさせたい」という英文

のメッセージをいただいた。台湾で放送されている番組はあっさり国境を越え、世界へ飛んでいく。台湾で活躍するテレビ司会者は中国でも引く手あまたと聞く。何度も乗り継ぎを重ねようやく辿りついた場所には、既に映像の私がいふ前に到着して、現地の人がにこやかに声をかけてくる。これが現在の「映像」の威力と俊敏性……。

出版した本も国境を越える可能性がある。台湾の書籍の市場は、中国の出版社も常にチェックして、勝算ありと見込まれた書籍は簡体字に置き換えられ発行される。特に中国人観光客が多く訪れることで、台湾のガイドブックの需要が高まっているようだ。販売のマーケットは、もはや著者の手を離れ、どんどん動いていく。私は、ただ販促と称して台湾のラジオ番組に出



演したり、ブックフェスティバルのサイン会に登場して尽力するのみ。本の出版は、副産物として、これまでとは一味違った舞台を用意してくれた。何より、出版界の動きを、僅かではあるが体感できたことは大きい。私自身は、視聴者、読者に向けた次作品以降の表現の展開を考えていきたい。



### MATSU プロフィール MATSU(阿松)

台湾で活躍する日本人テレビ司会者、台湾のアレド同郷情報誌で放送のグルメ番組「大口地産物賞」のMCを務める。これまで多くの書籍制作/企画/撮影/編集/販売/小規模イベント/企画、番組内で「台湾の食の風景」を伝える、テレビ・ラジオ・アメリカ、カナダ、中国、日本など世界で幅広く活動を行い、その映像を自身の活動に活かしている。

### 『いかにも台湾、やっぱり日本』第3回

## 「媽祖? 天照大神?」

作家 亜洲奈みづほ

目玉から女神が生まれた?オカルトではない。日本神道の最高位にいる、天照大神(あまてらすおおみかみ)の発祥の話だ。彼女は父であるイザナギノ命(みこと)が、心身を清めたところ、右目から生まれ落ちたと言われている。日本の3大神は、太陽・月・海を象徴しており、そのほか各地の神社の御本尊も、(天神様のような例外はあるものの)遠い神話に由来することが多い。また御本尊を像ではなく、鏡とするのが一般的だ。時には、しめ縄を張った巨木であったり、山そのものを御神体と考えることもある。その点、神道は抽象的な宗教なのかもしれない。



慈祐宮

慈祐宮  
思うに台湾の高名な神々は、神話でなく、実在する人物が神格化されている例が多いように感じられる。保生大帝、王爺、孔子…閩帝は「三国志演義」の創作であるものの、人物像はしっかりとしている。いずれも言うまでもなく、御本尊は神像だ。媽祖もまた、神秘的静かな笑みをたたえており、女性らしく温かな霊力にあふれ、参拝客たちは、ふとこころに抱かれるような安心感を得る。

台湾と日本の信仰の違いは、お供え物

台湾の女神といえ、やはり媽祖、天后聖母が第一にあげられることだろう。彼女の来歴は、じつに明確だ。生まれは西暦960年の3月23日、名前は林默娘。この霊能少女が、夢のなかで難破した兄と父を助けようとしたところ、正夢となり、兄だけは一命をとりとめた。そののち、わずか28歳で夭折、死後は航海の女神として神格化されてゆく。特に福建省からの移民が、台湾海峡の荒波を越えるさいに、頼りとさ

## 帰化申請の必要書類について(永住者一家の場合)

Q私(台湾人男性、40才、会社員)は、来日14年目を迎えた技術者です。すでに妻子と共に永住権を得ておりますが、子供の将来のために、一家で帰化することを決意し、このたび帰化に反対していた私の両親からの合意も取り付けることができたので、本格的に申請の準備を始めたいと思います。

そこで、今回は、多様かつ膨大な枚数に及ぶという帰化申請の必要書類について、概説をお願いしたいのですが。

A.一般に、帰化許可を得るまでには三つの関門がある、といわれている。一つ目は、質問者がこのほど乗り越えられた、親族の同意という関門である。二つ目が、申請書類の作成と添付書類の収集。そして、最後の関門が半年から1年に及ぶ審査である。

質問者は、今まさに第二の関門に直面したわけである。永住者の在留資格を得た会社員である質問者本人の帰化申請必要書類は、一般に次のとおりである。

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1. 帰化許可申請書         | 2. 親族概要書               |
| 3. 帰化動機書           | 4. 履歴書                 |
| 5. 最終学歴の卒業証明書      | 6. 技能・資格の証明書           |
| 7. 国籍及び身分関係の証明書    | 8. 外国人登録原簿記載事項証明書      |
| 9. 宣誓書の複製          | 10. 生計                 |
| 11. 在勤・給与証明書       | 12. 源泉徴収票              |
| 13. 住民税納税証明書       | 14. 住宅・勤務先付近の略図        |
| 15. スナップ写真         | 16. 自動車運転免許証の写し(免許所持者) |
| 17. 自動車運転記録(免許所持者) | 18. 預貯金の残高証明書          |
| 19. 不動産登記簿謄本(権利者)  | 20. 母の出産に関する陈述書        |
| 21. 出入国履歴表         | 22. 会社登記簿謄本(役員)        |
| 23. その他            |                        |
- さて、上記書類のうち、特に重要で、かつ説明を

要するものを挙げてみよう。

まず、「親族概要書」であるが、これは様式に従って、父母、妻の父母、妻子、兄弟姉妹等の親族につき、氏名、年齢、職業、住所、交際状況、帰化意思の有無、申請者の帰化に対する意見、婚姻・死亡等の身分事項を記載する。

次に、「履歴書」であるが、これには居住関係、学歴・職歴、身分関係、最近5年間の出入国歴(過去数年間に於いて、海外駐在や留学のため長期出国していた場合は注意を要する)、技能、資格、賞罰を記載する。居住関係、学歴、職歴、身分関係については、出生から現在に至るまでの履歴を漏れなく記載する必要があり、転居の多かった場合等では、その確認に手間取ることがある。賞罰については、交通違反等も素直に記載する。

「国籍及び身分関係の証明書」については、国籍に関する証明書として国籍証明書(旅券の返納と引換でなければ、交付されないことがある)、旅券の写しが必要である。旅券については、原本提示も要求される。身分関係の証明書としては、台湾の場合、父母の婚姻・本人の出生・親族関係のわかる戸籍謄本、質問者の場合、本人も婚姻して子供もいるので、さらに妻との婚姻・子の出生に関する証明書も必要であり、日本で婚姻や子の出生があった場合には、婚姻届受理証明書や出生届受理証明書等も要求される。

「預貯金の残高証明書」については、申請者一家が安定した生活を継続できる程度の残高が求められる。なお、上記必要書類は、原則として申請者ごとに二通ずつ提出または提示が要求されるが、今回の質問者のように家族で帰化申請する場合には、妻については省略可能な書類もあるので、事前に確認しておくよ。

以上のとおり、帰化申請に関する必要書類は多様であり、また、詳細な記載も要求されるため、数ヶ月程度の期間的な余裕をもって、収集・作成にあたるべきである。そして、くれぐれも遺漏や虚偽の記載をしないよう、注意しなければならない。

質問者家族が、無事に書類収集・作成を終えて申請を行い、最後の難関である「審査」をパスし、晴れて帰化許可を得る日を迎えられるよう、祈っている。

にも現れているようだ。日本であれば、神社側が準備したものを前に、お賽銭を入れるだけで良い。ところが台湾であれば、参詣者の1人1人が、線香を準備、赤い皿に、うるち米や菓子などを、てんこもりにしたものを捧げることになる。祈るさいには、胸のうちで、自らの名前から住所、年齢などの個人情報や伝えたいうえで、要求をはっきりと念じる。その瞬間、神様と参詣者は、1対1で結ばれるのかもしれない。言うなれば、神様と人間との距離が、近いのではないだろうか。

その点、日本では、まずもって日本人に

生まれさえすれば、本人の意思にかかわらず、自動的に神道の氏子として数えられてしまう。洗礼のようなものを受けるわけではない。そのため自分の氏神が誰で自分はどこかの信者なのか、本人が把握していないことすらある。また参詣のさいには、台湾とは対照的に、神主さんがヌサを持ち、「おほらい、お浄め」するのが第一で、願いの要求は、二の次となっている。これは余談だが、日本の某新興宗教の教団は、国内向けの冊子では、心のありかたなどの抽象論を説いているのだが、台湾支部が独自に発行している冊子のほ

うでは、信仰により、どれだけ御利益があったかの実例、いわば現世利益のようなものを、非常に強調しているという違いがあった。

具体的な神と1対1で結ばれる台湾と、神が形而上のものである日本。それぞれのありかたがあるのだろう。

ちなみに、祈りの期待に応えつけてきた媽祖は、横浜にも廟があるように、台湾の内外に信者を集めており、その数は2億人に達するという。一昨年には、媽祖信仰そのものが、ユネスコの世界文化遺産に認定されることとなった。

### 台湾を憶う日本人(11)

## 「千と千尋」の不思議な街に魅せられて

～ 須藤明日奈さん ～

林雅行(映画監督)

2001年、小学6年生だった頃、観たアニメ映画『千と千尋の神隠し』に衝撃を受けて、宮崎監督が作品のヒントを得たとされる台湾・九?を訪ね、大学の卒論をまとめた須藤明日奈さん(22歳)。父は祖父の代から東京蒲田で精密機器を製造する町工場を営んでいる。2人の娘の生き方にはさすが寛容で学生時代にアメリカ、カナダ、イギリス、中国、ベトナム、マレーシアなどを旅したが、台湾は初めてだった。2010年10月のことである。九?の基山街、堅崎路はもちろん、基隆山を越えて金瓜石にも足を伸ばし、黄金博物館や水?洞を見て回ったという。

『千と千尋』を観てイメージした九?。実際行ってどうだったかと尋ねてみた。坂と石段の堅崎路、「びったりだったのは提灯。違ったのは、まわりの家が日本式ではなかったところ」。山にへばりつくたくさんの墓を見て「家かと思った」と須藤さん。案内人は、九?の女性と結婚した日本人の高野誠さん。東京板橋出身の高野さんは日本で知り合った妻の故郷の九?で民宿を経営しているだけでなく、九?の観光や文化振興に奔走している。その高野さんが『千と千尋』の宮崎監督が九?を訪れたとき案内した、と須藤さんは高野さんか

ら聞いた。そして、卒論に記した。「一般的には知れ渡っていない、映画のモデルとされている場所へ案内してもらった。それは映画の冒頭に登場する、不思議な街へと繋がる『トンネル』である。宮崎監督も訪れたこの『トンネル』は、金瓜石の街を少し上がったところにあり、かつては坑道であった。石造りで周りには木やコケが生い茂っている。トンネル自体は1分もあれば十分抜けられるほどの長さである。確かに映画に登場するトンネルそっくりであった。須藤さんの卒論のタイトルは「台湾・九?の魅力～不思議な街を訪ねて～」とある。卒論というが、現地調査レポートになっていて、読んでいて私も九?に行っているような不思議な錯覚を起こしてしまった。

さて、須藤さんの趣味はというと、クラシックバレエを習っていたこともあり、ダンスだという。早稲田大学のミュージカルサークルに属していて、3時間のミュージカルの作品に出演する。70年代のヒットミュージックを題材とする作品で、今年春に公演だ。このサークルで7回目の出演になる。(ちなみに大学生の妹はチャダンスをやっているとか)。日本女子大学文学部史学科を今年3月に卒業する須藤さん



んは、4月から印刷会社に就職が決まっている。「その後はアメリカの大学院に行きたい。英語力に磨きをかけるために」。行きたい国は「チベット」。「もちろん、台湾にも。今回の九?は霧が多かったので、春か夏に。また、南にも。台中には友だちがいる」。自分のやりたいこと、思いがはっきりしている。好奇心旺盛でフットワークも軽そうだ。今時珍しい若者と云ったら失礼だろうか?私は思わず我が息子(現在24歳)を思い浮かべてしまった。おそらく私と同年代の須藤さんの父親は町工場の職人。職人氣質の親の元で育った自由闊達な須藤さんと話している、(良い意味で)親の顔が見たくなった。そして、私自身何回も通った九?へまた行きたくなった。

## 中華民国建国100周年お祝い特集(8)

### 「革命をプロデュースした日本人」の著者:小坂文乃さん

2009年に出版された「革命をプロデュースした日本人」という本がある。テレビなどでも話題になったこともあり、ご存知の方も多いだろう。台湾新聞では、2月3日、その著者である小坂文乃さんに、小坂さんが役員を務める日比谷公園内の「松本楼」でお話を聞いた。

小坂文乃さんが「革命をプロデュースした日本人」を書くと思ったきっかけは、なんと映画制作だという。日本の映画界の黎明期を作った梅屋庄吉のひ孫に当たる文乃さんらしいエピソードだ。

文乃さんのお母様が亡くなられたとき、家業のレストランとともに、孫文と深いつながりのあった日本人、梅屋庄吉の膨大な資料を、文乃さんが受け継ぐことになった。その資料を見ていて、どうしたものか、と考えていた2008年、ちょうど中国の胡錦濤国家主席が当時の福田総理大臣とともに、松本楼を訪れた。

その福田首相が首相を退いた後、小坂さんが福田氏と話をする機会があり、そのとき、福田氏に「きちんと記録に残したほうがいい」と、助言をいただいた、という。そのとき、小坂さんは「日本と中国」について、梅屋の立場からの伝記映画を作ら



小坂文乃さん

い、と切実に思ったとのこと。しかし、映画を作るにはシナリオが必要だが、シナリオは小坂さんがどこを探してもなかった。「なければ、自分であるしかない」。切実にそう思った小坂さんは、自宅にある資料をもとに「革命をプロデュースした日本人」を書き上げた。

小坂さんは昨年、中華民国政府の招きで台湾を訪れ、梅屋庄吉と孫文に関する多くの資料を見せていただいたとのこと。

辛亥革命から100年、ということはどう思われますか?とお聴きしたところ、「やは

り深い感慨があります。梅屋庄吉が生まれて100年めに私が生まれましたし、100年、というのは、歴史の上でも、なにかいろいろな節目として感じられるものがあると思います。いま、日本と中国、日本と台湾、台湾と中国、みんな揺れてますよね。しかもなにか割り切れない複雑さもある。こういうとき、日本と中国の100年、という節目のこの年に、原点に戻って考える、ということはとても大切なことなんだと思います。日本人ということでは、そこに、梅屋庄吉がいる、と思うのです。

孫文の死後も、梅屋庄吉は孫文との約束を守り、中国と日本のために駆け回った。時は日中戦争に入る直前。梅屋は「国賊」との誘いを受けながら、まさに身も心も日本と中国の両方の人々のために捧げ、そのさなか、志半ばにして帰らぬ人となった。梅屋の死後、日本と中国は雪崩をうったように、戦争へひた走る。そして、その日中戦争はやがて太平洋戦争の終わりにまで尾を引き、日本にも中国にも大きな傷を残した。

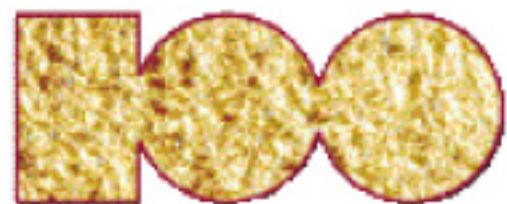
そんな歴史の狭間で、消えかかっていた「日本と中国の100年」に、小坂文乃さんの投じたこの本が、中国と日本と、そして台湾の関係をより良いものにしていくことを願う。インタビューを終えたあと、小坂さんは私を玄関先まで送ってくれた。松本楼の玄関の外も、なんだかいつもより暖かかった。今日は旧正月の「元日」だ、と思いついた。

### 回答者略歴

早稲田大学第一文学部卒業、同大学在学中、アジア大陸系から八ヶ岳山麓で視察するなど、1年9ヵ月にわたる一人旅を記録。河川平野を、新聞記者などを経て、平成7年度行政書士試験合格。平成8年3月、行政書士登録。平成8年11月、法政大学在留資格関係申請行政書士。平成17年10月、出入国管理及び難民認定法施行規則規

定・法務省東京入国管理局長官出行政務書士  
■＜専門分野＞  
入国・在留資格関係申請、在留特別許可申請、帰化許可申請、国際結婚・離婚・相続手続、会社・社団法人設立、建設業、旅行業等の各種営業許可申請等。

■＜事務所＞  
行政書士 小坂文乃事務所  
〒124-0022  
東京都葛飾区亀戸7丁目15番  
19号古本ビル内  
TEL: 03-3892-0778  
FAX: 03-3892-0499



慶祝中華民國建國百周年

## 文化藝術團

日本公演

日時/平成23年**3月25日(金)**

午後5時~受付・午後6時開演

場所/大阪市中央公会堂

大阪市北区中之島1丁目1番27号 TEL.06-6208-2002



## ACCESS

- 電車をご利用の場合  
御堂筋線/京阪「淀屋橋」駅下車①番出口から徒歩約5分  
堺筋線/京阪「北浜」駅下車②号出口から徒歩約6分  
京阪中之島線「なにわ橋」駅下車①番出口から徒歩約1分
- バスをご利用の場合  
市バス「淀屋橋(市役所前)」下車徒歩約3分  
[大阪駅88系・なんば60系]
- お車をご利用の場合  
阪神高速環状線「北浜」出口から約5分  
駐車場:館北側(15分につき100円/台)  
※14台駐車可



●歌仔戲(台湾伝統オペラ)

●客家伝統舞踊

●歌謡曲



先着1,000名様 無料ご招待!!

●お問い合わせ/大阪中華總會 大阪市中央区東心齋橋1-8-15 電話06(6271)3185  
主催 中華民國留日大阪中華總會 指導單位 僑務委員會、台北駐大阪經濟文化辦事處